

# 営農ウィークリーNEWS

## 梅雨時の野菜には根に酸素を！

梅雨時は、日照不足により様々な症状が出てきます。

ナスではめしべがおしべに埋もれるように短くなる短花柱花が多くなってきます。こうなると落花が多くなり、着果しても形状のいい果実は望めません。また、ほ場の多湿条件で、根の活性低下による、苦土欠症状も出てきて、全体の収量にも影響が出てきます。

ほ場の排水を良くし根に酸素が行き届くようにすることが重要です。



めしべがおしべより短い花（短花柱花）



苦土欠乏の葉

キュウリでは、梅雨の晴れ間に、突然萎れる急性萎ちょう症が発生することがあります。これは、多肥栽培が原因で、根が十分に張っていない上に酸欠で根の活性が弱り、大きな葉からの急な蒸散に対応できず、導管が詰まって回復不能になる生理障害です。こちらでも排水を良くし、根に酸素を与えるように中耕等を行うと同時に、他の株では、発根促進のために各株でわき芽も含めて3～4本程度の生長点を残すようにし、症状の広がりを止めることが大切です。



梅雨の晴れ間に突然青枯れ症状になったキュウリ

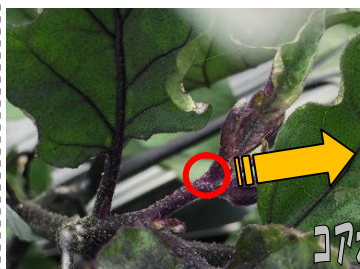


—TAC information—

コアオカスミカメ (幼虫)



「京都茄子（千両二号）」  
害虫発生注意報！



コアオカスミカメ (幼虫)



コアオカスミカメに、成長点部が吸汁加害にあうと、成長と共に被害部が拡大するので、葉に多数の穴が空いたり奇形になったりします。被害が激化すると芯止まりになり、その後の成長や収穫量に多大な影響を与えます。  
発見次第、防除してください！！